

5月8日から結核健診(胸部レントゲン撮影)が始まります

問 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134

今年も例年通り、結核健診を各地区で実施します。早期発見・早期治療のために年1回は結核検診(胸部レントゲン)を受けましょう。

結核ってどんな病気?

◎結核は「現代の病気」です

50年前まで、結核は年間死者数が10数万人に及び、死亡原因の第1位となっていた病気でした。医療や生活水準が向上した今でも、年間2万人の新規患者が発生しています。その数は1日に56人の新しい患者が発生し、6人が命を落とす重大な感染症です。人々の関心の低下や治療薬が効かない多剤耐性結核など新しいタイプの結核も出てきており、世界的に見ても日本は依然として高い罹患率となっています。

◎結核はどう感染するの?

せきやくしゃみで「空気感染」する病気です。

結核は、「結核菌」という細菌が体の中に入り込み、主に肺に炎症を起こす病気です。重症の結核患者がくしゃみやせきをしたときに結核菌が飛び散り、それを周りの人が直接吸い込むことにより感染します。

結核の初期症状はカゼとよく似ています。以下の症状があるときは早めに受診しましょう。

- せきが2週間以上続く
- たんが出る
- 微熱が2週間以上続く
- 体がだるい
- 胸痛
- 体重減少



健康ふじみ通信 ～心も体もいきいきと 楽しく暮らせる高原の富士見町～

問 住民福祉課 保健予防係 ☎62-9134

「タバコ 編」

「健康ふじみ21」では受動喫煙の防止を図ることを基本目標の一つとし、各家庭での受動喫煙の機会の減少や、関係機関を終日全面禁煙施設(おいしい空気の施設)として整備できるよう努めてきました。

健康増進法では受動喫煙の防止は「努力義務」とされていますが、受動喫煙はなくなっていないません。そこで、厚生労働省は「受動喫煙防止対策の強化について(基本的な考え方案)」で建物内を全面禁煙とする考えを示しました。周囲の人の健康にも影響を及ぼす喫煙ですが、吸う人のマナーだけでなく、受動喫煙を防止する観点から喫煙場所等のルールを作り、整備していくことの議論が今後予想されます。たばこを吸う人も吸わない人も、受動喫煙から周囲の人を守るため、必要なことは何か考えてみませんか?

受動喫煙による健康被害

(大人編)



(子ども編)

